伊賀亮と天一坊

帝キネ時代映畫

脚色者　上島量氏
監督者　山下秀一氏
撮影者　立花幹也氏

――主要役割――

戒行後に天一坊　中村小福氏
大岡越前守　片岡童一郎氏
山内伊賀亮　明石緑郎氏
赤川大膳　阪東豊昇氏
常樂院日眞　林誠太郎氏
水野主税　靜香八郎氏
久右工門　嵐廣二氏
白石治右工門　片桐恒男氏
池田大助　賀川清氏
吉田三五郎　小野儀次郎氏
おさん婆　國千枝子嬢
お小夜　泉清子嬢
大岡妻　伊川貞子嬢
綾琴　千草香子嬢

解説――「新皿屋敷」について山下秀一氏が監督製作した時代劇である。

略筋――德川八代享保の頃、紀州の片田舎平澤村感應院の役僧戒行は孤獨の身を淋しく送つてゐた。村人は乞食の子であつた彼を常に虐げてゐたが一人暮しのおさん婆さんのみはいつも彼を何くれとなく慰め力づけてゐた。或日戒行はふとした事から婆さんの娘澤野が時の將軍吉宗公の胤を宿し證據の二品を賜つて下つてゐたが出生と同時に產後の肥立ち惡く母子共逝つたといふ事を聞きさなきだに燃えんとする彼の野心は擡頭して遂に自分は殺されおさんは自殺せる如く裝い證據の墨附と銘刀を奪い九州に出て時の來るのを待つてゐた。かくて二ケ年は過ぎ戒行は往年の惡事に良心の苛責に苦しみ大望を棄てんとしたが當時の智謀山内伊賀亮の使嗾に彼の心は又燃え伊賀亮は腹心の赤川大膳を語らい大膳の叔父常樂院日眞と謀つて戒行の身元を送り戒行を天一坊と名乘らせ華々しく江戸へ乘り込んだ。深淵な伊賀亮の智謀に流石の將軍も明智の大老も何等の疑ひもさしはさまなかつたが一人奉行大岡越前守の炯眼はその僞者なるを見破り種々取調べの結果遂に伊賀亮等の企謀は發見され惡人共は自刄し德川の代は安寧を保つことが出來た。